

令和3年度 和白青松園事業報告書

1. 入所実績

○ 定員	52名
○ 延定員	18980名
○ 入所日数	365日
○ 延入所児数	9672名
○ 平均入所児数	26.5名
○ 入所率	51.0%

(1) 入所状況

(単位は%：名)

月区分	4月初	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
中学校	9	9	9	8	9	10	10	11	11	11	12	13	12
高校生	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	12	7
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	26	26	25	26	27	27	28	28	28	29	28	22
入所率	50.0	50.0	48.0	48.0	50.0	51.9	51.9	53.8	53.8	53.8	55.7	53.8	42.3
入所 合計名 8名	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	2	1	1
退所 合計名 11名		0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	7
一時保護委託 利用者人数 合計 70名		5	3	8	10	10	8	5	4	4	2	4	7
ショートステイ 利用者人数 合計 219名		13	13	18	17	18	11	13	23	23	22	26	22

(2) 入退所理由

(単位：名)

入所理由 区分	虐待	就労	疾病	拘禁	養護	その他	計
年度初現在数	3	0	8	4	10	0	25
入所数	4	0	0	0	4	0	8
退 所 数	措置変更	0	0	0	0	1	1
	家庭引取	0	0	0	0	4	4
	就職・進学	3	0	0	0	3	6
	その他	0	0	0	0	0	0
	計	3	0	0	0	8	11
年度末現在数	4	0	8	4	6	0	22

2. 児童の支援について

(1) 基本方針・基本理念

①基本理念

児童一人ひとりの立場に立って人権を養護、尊重し最善の福祉サービスを提供することを目指します。

②基本方針

人権尊重を養護の基本とし、事故の防止、疾病の予防に万全を期し明るく健やかに日常生活を送れるよう温かい環境作りに努力する。

* (家庭に近づけ、健康で、いつも笑顔の明るい夢のある生活)

(2) 目標の反省

◇私たちはかけがえのない存在です。お互い思いやりを持って優しい気持ちで接して行きましょう。

＝居室人数が少ないため、児童間のトラブルは減少傾向にある。各々の生活ペースを保つことができ、余裕のある暮らしのなかで互いに譲りあう面も見ることが出来た。

◇一人ひとりが目標を持ち、あきらめず一生懸命に努力しやり遂げましょう。

＝各自の課題に沿って目標設定ができた児童は順調な生活を送っていたが、登校不調や目標が明確に設定できなかった児童は、前向きな取り組みに繋げる事は困難であった。

◇まわりの人に素直に「ありがとう」が言える感謝の気持ちを持ちましょう。

＝個別の関わりの中では素直な面が多く見られ、落ち着いた会話をすることが出来たが、他児もいる状況下では周りを気にする傾向にあり、素直な気持ちや感謝を伝えることが出来ない面も見られた。

◇みんなで話し合った事や決まりをきちんと守り、責任感を持ちましょう。

＝一部の中学生には他室への入室や屋根への登上、深夜帯まで騒ぐなどの逸脱行為が見られた。高校生については、帰宅が遅れる際は連絡を入れるなど、コミュニケーションが取れていた。

(3) 具体的内容

- ① 小学生 ○生活支援…男児は比較的落ち着いて生活することができた。女兒は中学生も含む集団性が強く、学校への行き渋りや夜間に騒ぐなど、周りの子の行動に影響を受け、全体的に落ち着かない面が見られた。個別の関わりの際などは、前向きに活動する様子は見られたため、個別対応の更なる必要性が感じられた。
- 学習支援…学校への行き渋りが見られた児童の生活改善はなかなか見られなかったが、学習ボランティアを活用し支援を行った。
- ② 中学校 ○生活支援…男児は比較的目標や落ち着きを持って生活することができたが、女兒については集団性も伴い、数名が一緒になって落ち着かない状況が多々見られ、改善に繋がらなかった。
- 学習支援…希望する児童には学習塾への通塾や学習ボランティアの協力などの支援を実施することが出来た。
- ③ 高校生 ○生活支援…居室人数も少なく互いに干渉しあう機会も減ったため、各々の生活ペースは確立している様だった。時折、中学生と一緒に落ち着かない様子がみられたが、概ね安定した生活を送ることができた。
- 学習支援…一部の児童は、不登校の傾向に変化は見られなかったが、それ以外の児童については、比較的順調に単位取得することができた。
- 進路…高校卒業生7名（就職2名・進学4名・未定1名）
- 就職… ・株式会社マルハニチロ物流サービス九州
株式会社東洋食品
- 進学… ・JAPAN サッカーカレッジ
・福岡外語専門学校
・平岡調理・製菓専門学校
・福岡 ECO 動物海洋専門学校

3. 職員について

(1) 人員について

(単位：名)

職種 区分	園長	事務員	相談員 家庭支援専門	個別対応職員	相談員 里親支援専門	保育士	心理士	看護師	栄養士	調理員等	合計
						児童 指導員					
定数	1	1	2	1	1	24	1	0	1	4	36
4月1日在籍数 含同日採用	1	(1) 1	2	1	1	(2)	(3) 1	0	1	(1) 4	(7) 38
						26					
異 動	年間退職者数 含3月31日 付退職	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	2
						2					
年間採用者数 除4月1日 付採用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	(1) 2
						2					
3月31日在籍数 除同日退職	1	(1) 1	2	1	1	(2)	(3) 1	0	1	(2) 4	(8) 38
						26					

※・・・()内は非常勤職員

(2) 充足等について

職員定数（4：1）は36名であるが、実人数は38名でスタートした。

非常勤心理士3名を採用。

(3) 研 修 等 に つ い て

職員のケアワーカーとしての資質向上のため、県内外の研修会やその他諸々の研修会に積極的に参加し、入所児童の処遇向上を図った。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のためオンラインでの研修参加がメインとなった。

5/13	施設心理職員合同研修	1名
5/18~27	県社協新任職員研修	3名
6/18	特別支援教育スキルアッププログラム	3名
6/23	中堅職員研修	3名
7/1	キャリアパス対応生涯研修	2名
7/6	児童養護施設職員指導者研修	1名
7/10~12	SBI研修(中堅職員対象)	1名
7/29	保健衛生研修	1名
8/2	九州児童福祉施設職員研究大会	7名
8/11	リフカー研修(虐待関連)	1名
10/15	市協議会研修②	2名
11/9	アンガーマネジメント研修	2名
11/19	市協議会研修①	3名
1/8	初任ポードミーティング研修	1名
1/28	コミュニケーション研修	1名
3/23	アレルギー研修	1名

4. 施 設 整 備 に つ い て

○ 固定資産物品 …… 業務用シュレッダー

工事/修繕 …… 和白青松園外壁塗装等工事
松林支障枝等の撤去

5. 主な出来事

研修同様新型コロナウイルス感染防止や緊急事態宣言により行事の自粛を行なった。
次年度もコロナ禍の状況を踏まえ行事を検討していく。

4/2	辞令交付
4/7	入学祝
4/30～5/5	ゴールデンウィーク外泊
5/19	法人監査
6/11	権利擁護委員会
7/20	夜間避難訓練
8/3	盆読経
夏休み期間	部屋食
12/24	クリスマス会
1/1	年賀の会
2/25	行政指導監査（書面監査） 新型コロナウイルス感染拡大を受け中止

6. 苦情解決処理委員会について

○令和3年度は特に報告すべき案件は無し。

7. 権利擁護委員会

○こどもたちの権利擁護、施設生活の課題、また、現在の社会的養護に求められるものについての報告を実施した。

8. その他について

① 安全管理

- 防災訓練…消防署の指導による防災訓練を実施、また年2回の通報訓練を行った。
(避難、消火、通報訓練・地震避難訓練)
- 健康管理…例年通り児童や職員の定期検診・全職員の腸内検査を実施。また、全児童・全職員にインフルエンザの予防接種を実施し、病気の予防や体調管理に努めた。新型コロナウイルス対策としては、検温・手指消毒・マスク着用の徹底など施設内で出来る限りの対策を行うと共に、行政の方針に合わせ児童の生活支援を行った。

- 衛生管理・・・各ホームでの手洗い／うがいの奨励を行なうと共に、施設内での感染性の高さを意識付け、食中毒予防など衛生意識向上に努めた。
食事の配膳の際のエプロン／三角布の着用の徹底。
保健所指導のもと調理室の衛生管理を実施した。
- コロナウィルス感染防止
新型コロナウイルス対策として、備品の確保や日々の声掛け、日常的なマスクの着用など、感染防止に努めた。
職員／児童の共有スペースでの食事を回避。
食卓へのアクリル板設置。職員／児童へのワクチン接種の促進。
園内行事や部屋行事等の密を避けた行事起案の徹底
- ② 地域交流・・・昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で地域行事も軒並み中止となった中ではあったが、小規模の活動には可能な限り参加した。
- ③ 各種事業・・・地域小規模児童養護施設 「あすなろホーム」(男児)
地域小規模児童養護施設 「結実ホーム」 (女児)
小規模グループケアホーム 5 ホーム (男児3／女児2)
一時保護専用ホーム※ 「クローバー」 (男児6名／女児6名)
※ショートステイ事業を含む
自立援助や家族再統合、また、家庭的な生活を目標に、こどもたちの安心・安全な生活の確保に取り組んだ。
- ④ 後保護・・・コロナ禍ではあったが、卒業生の帰園時や各種問い合わせ時に支援を行った。また、成人式の際には、ささやかではあるがお祝いを実施した。
- ⑤ 実習生、ボランティアの受け入れ
新型コロナウイルス感染防止により、実習生・ボランティアともに、自粛及び自粛のお願いを一部実施したため、昨年度に引き続き減少傾向となった。
- 実習生(大学、短大、その他)
 - ・ 受け入れ校…20校、実習日数10日～24日、実習実人員76名
- ボランティアの受け入れについて
 - ・ ボランティアの受け入れについてはマニュアルを作成し、職員に徹底し意思の統一を図った。
- ボランティア(招待)(敬称略)
 - ・ 食事／食材…博多食文化の会／焼肉極味や
- ボランティア(訪問)(敬称略)
 - ・ 学習指導(九大学生)

⑥ 寄付物／寄付金

○ 寄付物について（敬称略）

・不二精機株式会社（玩具／雑貨）	・(株)環境開発（図書カード）		
・(有)トップクロス（商品券）	・(株)新生堂薬局（お菓子等）		
・アサビル（株）（おせち 5 箱）	・(株)ライブネス（食材）		
・ドミノピザ（ピザ） 2 件	・フィリップ モリス ジャパン(株)（食材） 2 件		
・インポートカーリング（図書カード）	・2nd prime 株式会社（マスク）		
・博多不動産（商品券）	・他 49 件		
・(株) アクティネットワーク（ipad2 台）		全 63 件 計	3,961,765 円

○ 寄付金収入（敬称略）

・創生会グループ（北九州銀行）	1,000,000 円	・井上敏恵氏	200,000 円
・木村秀作氏	1,000,000 円	・曾根泰子氏	120,000 円
・三谷淳夫氏	1,000,000 円	・福岡和白病院	104,000 円
・(株)ミロク企画	562,000 円	・	円
・西村博之氏	518,500 円	・	円
・みんながサンタ!!企画実行委員会	505,216 円	・	円
・柴田宗樹氏（故柴田敏淑氏）	500,000 円	・	円
・(株)エスネットワーク酒井一郎氏	300,000 円	・他 16 件	1,151,000 円
・匿名希望	300,000 円		
		全 37 件 計	7,260,716 円